

令和3年度 北海道札幌月寒高等学校〔全日制〕 学校評価票（学校関係者評価）

この学校評価は、関係法令に基づいて実施するもので、職員による「自己評価」の結果を集計し、さらに学校評議員、PTA役員等による「学校関係者評価」を経て、月高ホームページ等を通じその結果を広く公表するものです。

領域	番号	評価の項目	R2年度		本年度（R3）自己評価			学校関係者評価	
			平均		平均		改善の方策等	評価の適切さ	具体的ご意見
I 学習指導	1	生徒の興味を喚起し、進路に応じた教育課程を編成・実施している。	3.9		4.1		観点別評価等、新しい学習指導要領にもとづいた学習評価等に関する研修を充実させる。	5.0	
	2	基礎・基本の定着と課題解決能力の伸長を図る学習指導を行っている。	4.2	4.0	4.3	4.1			
	3	授業改善に取り組み、視野を広め、学力を向上させる学習指導を行っている。	4.0		4.0				
II 生活指導	4	自主自立の校風の中で自己管理を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせている。	4.2		4.1		年度初めに指導内容の統一を徹底する。生徒に関する学年内の情報共有の充実を図るとともに、生徒の特徴に応じて学年を超えた情報の共有を図る。	5.0	問題解決型の生徒指導だけでなく、目指す生徒像をもとに生活向上型の生徒指導を実現することも重要。
	5	親和協力の精神で社会性を育み、規範意識を身に付けさせている。	4.1	4.1	4.1	4.1			
	6	部活動や生徒会行事は自主的かつ活発であり、校訓の実現に寄与している。	4.2		4.2				
III 進路指導	7	3年間を見通した系統的で継続的な進路指導を行い、進路意識を高めている。	3.9		3.9		保護者を含めたコロナ禍における進路に関する情報提供のあり方の改善を図る。3年間を見通した進路活動について、生徒へのより一層の意識付けを図る。	4.8	将来を考える意識の醸成のための機会や時間をかけることも必要。
	8	一人ひとりの確かな自己実現を図るため、充実した進路情報を適時に提供している。	4.1	4.0	4.0	3.9			
	9	進路指導体制の充実に取り組み、生徒や保護者の期待に応える進路希望が実現している。	4.0		3.9				
IV 健康安全指導	10	心身ともに健康な生徒を育成するため、健康・安全意識を高める啓発活動を行っている。	4.4		4.3		問題を抱えた生徒への組織的な支援体制を再構築し、学校全体として情報を共有し、生徒支援の充実を図る。カウンセリングの回数増を要望し独自策を検討する。	5.0	予防的な取組や受け皿となるシステムの構築が必要。外部人材を活用し、サポーター制度を取り入れるなどして教員の負担軽減を図る。
	11	教育相談や生徒理解の取組を充実させ、いじめや不登校等の早期発見と適切な対応を行っている。	4.2	4.2	3.6	4.0			
	12	安全・防災の視点から教育環境の維持向上を図るため、施設設備の日常的な点検整備を行っている。	4.1		4.2				
V 運営	13	教育活動の改善・充実に向け、経営方針や教育目標を明示するとともに、学校評価を適切に行っている。	3.9		4.2		校務運営会議の積極的な活用や情報のオープン化により、学年間の連携、分掌間の連携の一層の充実を図る。	4.8	学校運営についての教職員の参画意識の向上を図る。
	14	分掌・学年及び職員間の連携を図り、協働して課題解決に取り組んでいる。	3.3	3.7	3.6	3.9			
	15	健全な社会人としての資質・能力の育成を目指し、ホームルーム活動の充実に取り組んでいる。	3.9		4.0				
VI 連携	16	後援会・PTA等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営につとめている。	4.0		4.2		アフターコロナを見据えたPTA活動のあり方や地域との連携策を模索する。	4.8	学校の取組が地域に理解されている。同窓会なども含めた連携のあり方の模索。
	17	地域社会へ情報を発信するとともに、保護者や地域住民の要望等の把握につとめている。	3.8	4.0	4.0	4.1			
	18	学年・学級からの情報発信などにより、担任と保護者との連携協力を図っている。	4.1		4.0				
VII 他	19	時間外勤務解消に向けた実効性のある取組を行っている。	2.9	2.9	3.0	3.0	教育活動全体を見通して業務の削減を図る。	4.4	時間外勤務の厳しい現状が窺える。業務の大胆な取捨選択が必要。